

第4回

秋のハイキングを楽しもう

夏に比べて気温も低くなり、山では紅葉も始まりハイキングなどの行楽に最適なシーズンになりました。富士山の周辺でも週末には多くの人で賑わっています。秋のこの時期にハイキングを行なう際に注意してほしいことや、最低限守るべきことについて紹介します。

(1) きちんとした装備で、ゆとりの計画で

平地では夏のように暑くても、山は平地に比べて気温が低いです。雨が降ると気温がさらに下がります。防寒着や雨具を持たずに山に行って、雨に降られて濡れてしまい、疲労凍死するケースもあります。天気が良くても必ず防寒着と雨具を持っていきましょう。

また、夏に比べて日が沈む時間が早くなっています。山の中では平地より早く日が沈んでしまうので、日帰りのハイキングであっても必ずライトを持っていきましょう。

計画を立てる際にも下山の時間を早めに設定するなどゆとりのある計画を立てましょう。

② 木の実や紅葉した葉を採らない

実りの秋を迎えた山では、あちらこちらで木の実が実っています。美味しそうな木の実があると、つい採ってしまいた

くなりますが、採らないようにしましょう。富士山の五合目以上や青木ヶ原樹海など自然公園の特別保護地区内では植物(落ち葉を含む)の採取は原則禁止されています。



この時期の木の実はこれから冬を越す動物にとって大切な 食料なのです。特別保護地区外であっても動物たちのために も採らずに、そのまま残しておきましょう。また、紅葉した 植物がきれいだからといって採ってはいけません。中には、 ヤマウルシやツタウルシのように少し触れただけでもかぶれ てしまう植物もあります。紅葉がきれいだからといって、枝 などを折って採ってしまわずに、写真に撮って楽しむように しましょう。

③ ゴミは必ず持ち帰る

この時期になると、登山道や道路の脇などいたるところで、 散乱した弁当等のゴミを見かけます。当たり前の事なのです が、富士山やその周辺の自然地域にはゴミ箱はありません。 自分で出したゴミはきちんと自分で持ち帰りましょう。さら に進んで自分のゴミを持ち帰るだけでなく、ゴミ袋を余分に 持って落ちているゴミを拾うようにしましょう。

訂正とお詫び

前号(74号)の「こんなものをみつけたよ 月見草?」で、「太宰治が御 坂峠にある天下茶屋に*滞在中に書いた*『富嶽百景』」と書きましたが、 正しくは「太宰治が御坂峠にある天下茶屋の*滞在経験をもとに書いた* 『富嶽百景』」でした。この場を借りて訂正し、お詫び申し上げます。

さんなものをみつけたよ秋の木の実

9月も中旬を過ぎると富士北麓も急に秋の気配を深めます。秋晴れの日は涼しく乾燥し、絶好の外出日和です。裏山や公園、ちょっとした山道を歩いてみましょう。秋の森の主役は広葉樹。美しい紅葉や木の実が見られ、私たちを楽しませてくれます。右の写真はそんな折に出会った木の実です。どの木が落とした実かわかりますか?(答えは右下)

〈ヒント〉

- ① ドングリの木と言えばこの木。ギザギザ葉っぱが特徴。
- ② つる性の木。熟すと割れる実から「開け実」が語源とか。
- ③ 灰白色の樹皮が特徴。大木になり、実はクマの好物。
- ④ つる性の木。実は房状にぶら下がる。

